

山中常盤双紙

寺田寅彦

青空文庫

岩佐又兵衛作 「山中常盤双紙」 というものが展覧されているのを一見した。そのとき気付いたことを左に覚書にしておく。

奥州にいる牛若丸に逢いたくなつた母常盤ときわが侍女を一人つれて東へ下る。途中の宿で盜賊の群に襲われ、着物を剥がれた上に刺殺される、そのあとへ母をたずねて上京の途上にある牛若ふくしゆが偶然泊り合わせ、亡靈きけいの告げによつてその死を知る。そうして復讐ふくしゆを計画し、詭計きけいによつて賊をおびき寄せておいて皆殺しにする。後日再び奥州から大軍の将として上洛する途上この宿に立寄り懇ねんごろに母の靈を祭る、という物語を絵巻物十二巻に仕立てたものである。

絵巻物というものは現代の映画の先祖と見ることが出来る。これについては前にも書いたことがあつたが、この山中常盤双紙は、そういう見方の適切なことを実証するのに好都合な一例と見ることも出来る。

絵巻物の色々な場面の排列、モンタージュまた一つの場面の推移をはこぶコマ数の按配^{あんぱい}、テンポの緩急といったようなものに対する画家の計画には、ちょうど映画監督、編輯者のそれと同様な頭脳のはたらきを必要とすることがわかる。

映画としてのこの絵巻のストーリーは、猿^{さる}蟹^{かに}合^{かつせん}戦^{せん}より忠臣蔵に至るあらゆる仇打ち物語に典型的な型式を具えている。はじめは仇打ち事件の素因への道行であり、次に第一のクライマツク

スの殺し場がある。その次に復讐への径路があつて第二の頂点仇打ちの場になる。そうして結局の大団円なりエピローグが来る。そういう形式がかなりはつきりしているのが目につく。

映画のタイトルに相当する 詞書ことばがき の長短の分布もいろいろ変化があつて面白く、この点も研究に値する。

二つのクライマックスの虐殺の場がかなり分析的にコマ数を多くして描写されている。展覧会場では、この二つの頂点の処の肝心な数コマが白紙で蔽おおわれて「カット」されていたことからしてみると、相當に深刻な描写があつて人間の隠れた本能を呼びさますものがあるものと見える。

全十二巻の詞書というものを売っていたので買ってみると、詞

書の上段に若干の画面の写真版が並んでいて、その中には上記のカットされたもののうちの二、三があるので大抵の想像が出来る。第一の頂点では常盤と侍女と二人が丸裸にされて泣き騒ぎ、その上に無残に刺殺され、侍女の死骸は縁側から下へころがされるといういきさつが数コマに亘つて描かれてあるらしい。また第二の山では牛若丸が六人の賊をめちゃくちゃにたたき斬る、そうして二つ三つに切つた死骸を席むしろで包んで川へ流しに行くまでを精細な数コマに描き分けたものらしい。

こうしたことから考えてみると、この絵巻物は、一方では勸善懲惡の教訓を含んでいると同時に、また一方ではおそらく昔の戦乱時代の武将などに共通であつたろうと思われる嗜虐的なアブノ

ーマル・サイコロジーに対する適當な刺戟として役立つたものであろうと想像される。殊に第一のクライマツクスは最も極端なアブノーマル・エロチズムの適例として見ることも出来はしないかと想像される。

こういうものが如何なる時代に如何なる人の需めによつて如何なる人によつて制作されたかということは、色々な問題に聯関して研究さるべき興味ある題目となるであろうと思われる。

それにつけて想い出されるのは、仏教や耶蘇^{キリスト}教の宗教画の中にも、この絵巻物の中に現わっているような不思議な嗜虐性要素のしばしば現われることである。十字架の基督や矢を受けた聖セバスチアンもそうであるし、また地獄変相図やそれに似た耶蘇

教の地獄図、聖アントニオの誘惑の絵の中にも同じようなものが往々見出される。こういう一致は偶然のことではなくて深い奥の方に隠れた人間の本性に根を引いていることだろうと思われるのである。

この間映画で見たが、インドの聖地では、自分の肉体を責めさいなむことを一生の唯一の仕事にしている人間が沢山いるようである。どうも不思議なことだと思われたが、よく考えてみるとこの謎が少し分りかけたような気もするのである。

（昭和九年七月『セルパン』）

青空文庫情報

底本：「寺田寅彦全集 第八巻」岩波書店

1997（平成9）年7月7日発行

初出：「ヤルパン」

1934（昭和9）年7月1日

※初出時の署名は「吉村冬彦」、表題は「「手中常盤」の映画的
手法」です。

入力・Nanaohbe

校正・しだららし

2006年12月22日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたつたのは、ボランティアの皆さんです。

山中常盤双紙

寺田寅彦

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>